

ナガレタゴガエル

Rana sakuraii Matsui et Matsui

無尾目アカガエル科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

県内では個体数が少なく、生息地である河川上流域の環境が悪化している。

形態

タゴガエルに似ているが、後肢のみずかきがよく発達しているので区別できる。成体の体長50mm前後。一般にメスはオスより大きい。繁殖期になると体側の皮膚がたるんでひだ状になり、特にオスでは著しい。

国内分布

本州中央部(近畿地方から関東地方まで断続的に分布)。

県内分布

大聖寺川上流部、動橋川上流部、大杉谷川、手取川水系の大日川、西俣谷川、尾添川、直海谷川、および犀川上流部で記録されている。

生態

成体はふつう山地の森林帯に生息している。晩秋になると溪流に集まり、水中で越冬する。早春の繁殖期には比較的深い水中の岩石の下に卵を産みつける。

生息地の条件

本県の生息地は、金沢市以南の標高200m~1140mの山地溪流とその周辺である。

生存の危機

山地溪流では堰堤工事や斜面の崩落、周辺森林の荒廃などによって生息環境が悪化している。(A)

特記事項

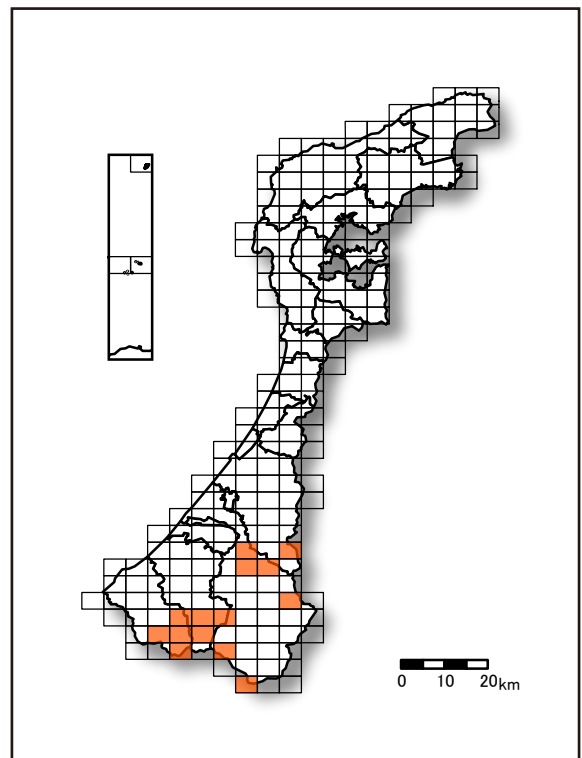
1978年に奥多摩で発見され、1990年に記載された種で、日本海側での産卵行動は調べられていない。2007年晩秋の調査では、河原や岸辺近くの水中にある石の下からオス成体が得られた。

参考文献

草野保・福山欣司 1996. Field Biologist 6(2):27-32.
前田憲男・松井正文 1999. 改訂版 日本カエル図鑑. p.68-71. 文一総合出版.
Matsui, T. and M. Matsui 1990. Herpetologica 46(1):78-85.



写真提供者: 宮崎光二



県内の分布